

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年6月21日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

1ページ目については、特に追加はございません。

2ページ目上段、6月25日火曜日、(3) 第733回の審査会合が午前中に開催される予定でございます。こちらは特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。審査の対象は、四国電力・伊方発電所3号機の特重施設の工事計画認可についての審査の予定でございます。

次に、その下、(4) 第734回の審査会合が同日の午後に開催される予定でございます。審査の対象は、2件が予定されております。

まず、1件目といたしまして、東北電力・女川発電所2号機、こちらの設置変更許可についての審査が予定されております。こちらはコメント回答の予定でございますが、内容は、地下水位の設定、地盤の液状化、それから、耐津波設計方針、耐震設計の基本方針、これらについてのコメント回答が行われる予定でございます。

次に、2件目といたしまして、九州電力・川内発電所1号機、2号機の、こちらは個別の事項でございますが、受電設備の移設について、工事計画認可の申請がございましたので、それについての説明を聴取する予定でございます。

次に、その下、6月26日水曜日、(6) 令和元年度放射線対策委託費の第1回研究評価委員会が午後に開催される予定でございます。こちらは、放射線安全規制研究推進事業について、その研究評価を外部有識者の委員により御議論いただくものですが、今回は令和元年度の研究評価の進め方について、まず議論・確認の上で、議題3でございますが、平成30年度に終了した課題についての事後評価、7件あるということですが、これについて議論をいただく予定になっております。

次に、3ページ目、6月27日木曜日、(8) 第735回の審査会合が開催される予定でございます。こちらは大規模損壊の発生に係る審査のため、非公開とさせていただきます。内容は、東北電力・女川発電所2号機の大規模損壊発生時の体制の整備についての審査が行われる予定でございます。

次に、一つ飛ばして、(10) 第286回の核燃料施設等に関する審査会合が同日27日の午後に開催される予定でございます。議題は、記載されておりますように、原子力研究開発機構・大洗研究所の廃棄物管理施設の設工認についての審査の予定でございます。分割申請が行われておりますが、そのうち遮蔽スラブ、火災報知設備、あるいは固体廃棄物の減容処理設備などについての審査が行われる予定でございます。

次に、その下、(11) 第31回の東海再処理施設安全監視チーム会合が夕方以降に開催される予定でございます。議題は、記載されておりますように、ガラス固化設備の次回の運転に向けた準備状況について説明をお聞きし、確認を行うほか、議題2ですが、東海再処理施設に関する地震等についてということで、地震についての審査を前回の4月18日の会合に続いて行うという予定でございます。前回のコメントについての回答がある予定でございます。

最後に、4ページ目、6月28日金曜日、(12) 第11回の原子力事業者防災訓練報告会、こちらが午後に開催される予定でございます。こちらは、例年、実用炉、それから、加工施設等、それぞれについての事業者防災訓練についての報告等を行っているものでございます。

今年も、議題1にございますが、30年度の訓練の結果について報告を行い、議論を行うとともに、議題2にございますように、今年度、令和元年度の訓練につきまして、評価指標などについて議論を行う予定でございます。

このほか、議題3にございますが、訓練シナリオ開発ワーキンググループ、そちらでの内容についての報告を行うとともに、議題4にございますが、EALに関しまして、訓練の中で見出された課題などについて共有し、確認をするということが予定されております。

第一部で実用炉について議論し、第二部で加工施設等について扱われるという予定となっております。

私からの御説明は以上です。

## <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ワタナベさん。

○記者 時事通信のワタナベです。よろしくお願いいたします。

2ページ目の(3) 733回の審査会合についてなのですが、四電の伊方3号機についてというお話でしたけれども、伊方3号機は、特重施設の完成が1年程度おくれるというような見通しが表明されていたかと思っておりますけれども、今回の会合の中で、その完成時期に関する議論というのはあつたりするものなのでしょうか。

○大熊総務課長 今回の審査は、今まで行ってきた審査の一環として行っているもので、工事計画認可について、申請内容についての審査を行うということですので、特段

スケジュールについての議論は予定されていないと承知しています。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—